ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

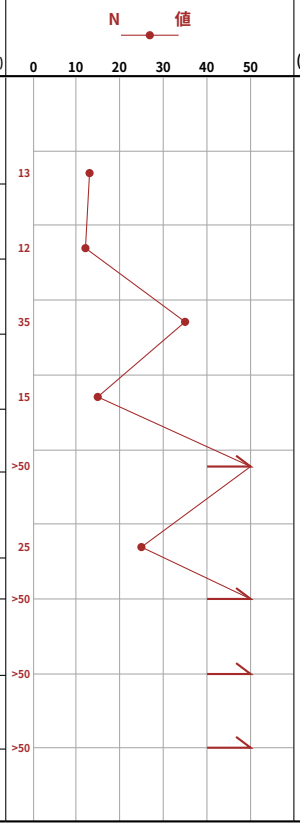
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	BV-2(測点NO.6L0.7)		調査位置									北　緯	36 ° 37 ' 43.0000 "
発 注 機 関	栃木県烏山土木事務所						調査期間	2008-09-20 ～ 2008-09-26				東　経	140 ° 10 ' 43.0000 "
調 査 業 者 名				主任技師			現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者			ボーリング責任者	
孔 口 標 高	77.36 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 25.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具		
総 掘 進 長	9.50 m								エンジン		ポ ン プ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
					表土 (SF)	暗褐			含水少ない 有機質シルト主体 植物根を多量混入する		
1	76.36	1.00	1.00		砂礫 (GS)	褐灰			含水少ない φ5～30mmの角礫が主体 最大礫径はφ80mm程度 マトリックスは細～中砂が主体で、所々に粘土を混る 4.0m以深は含水多くなる 5.5～6.0mは互層状に粘土を挟む 下部は円礫も混入する		09/28 3.80 09/26 4.82
2											
3											
4											
5											
6	70.86	5.50	6.50		砂岩 (Ss)	灰			全体に比較的硬質な砂岩であるが、割れ目が非常に多い コアは一部短棒状となるが、ほとんどは岩片状～礫状となる		
7											
8											
9	67.86	3.00	9.50								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	3	6	4	13／30	13
1.45					
2.15	4	4	4	12／30	12
2.45					
3.15	15	12	8	35／30	35
3.45					
4.15	5	6	4	15／30	15
4.45					
5.15	30	20／5		50／15	>50
5.30					
6.15	7	10	8	25／30	25
6.45	50／0			50／0	>50
7.00					
8.00	50／2			50／2	>50
8.02					
9.00	50／1			50／1	>50
9.01					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						09/24
						09/25
						09/26